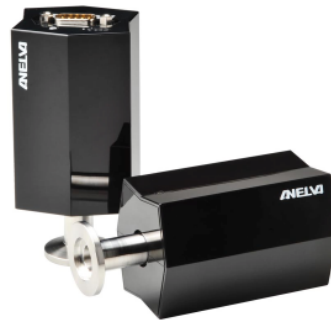


---

**VACUUM2012 - 真空展に出展します**

---

キャノンアネルバ株式会社（社長：酒井純朗、本社：神奈川県川崎市麻生区栗木 2-5-1、以下：キャノンアネルバ）は、10月17日～19日の3日間、東京ビッグサイトにて開催される“VACUUM2012 - 真空展”に出展します。



キャパシタンスゲージ M-342DG (参考出展)

キャノンアネルバの真空コンポーネント（真空部品）の主力製品である真空計、質量分析計、ヘリウム漏れ検知機、真空ポンプなどを中心に実機を展示します。

**■大気圧～超高真空の測定が可能「トランスデューサ型真空計」シリーズ**

環境配慮設計に基づいた、電源部・センサー部が一体となったトランスデューサ型の真空計です。電源据置き型と比較し、省エネルギー、省配線、省スペースとなっています。

当社独自の MEMS 技術によって、測定時の安定性をグレードアップし、ゼロ点ドリフトを抑制した「キャパシタンスゲージ M-342DG」を参考出展します。

**■分析管・電源部一体型質量分析計「トランスデューサ型マスフィルタ」**

分析管と電源部が一体化した構成で、電源据置き型と比較し、省エネルギー、省配線、省スペースとなっています。また、マスフィルタと排気系をシンプルに構成した、新発売のガス分析装置「Cシリーズ」を出展します。

**■着脱式ハンドコントローラー付 ヘリウム漏れ検知機「HELEN（ヘレン）」**

最長 8m まで伸びるコードを備えたカラー液晶パネル付ハンドコントローラーを標準装備し、使いやすさと安定稼動にこだわったシリーズ。大型装置の漏れ試験も一人で実施可能です。

**■VACUUM2012 -真空展**

- ・会期： 2012年10月17日（水）～10月19日（金）(<http://www.nikkan.co.jp/eve/vacuum/>)
- ・会場： 東京ビッグサイト（有明・東京国際展示場）東ホール
- ・キャノンアネルバブース： V-69番
- ・主催： 日本真空工業会、一般社団法人 日本真空学会

- 
- 報道関係者のお問い合わせ先：キャノンアネルバ株式会社 総合企画部 総合企画課 044-980-5121
  - その他の方のお問い合わせ先：キャノンアネルバ株式会社 営業センター 営業第一部 044-980-3503
  - キャノンアネルバ ホームページ：<http://www.canon-anelva.co.jp/>
-

## <主な展示品のご紹介>

### 1. 大気圧～超高真空の測定が可能「トランスデューサ型真空計」シリーズ

- ・「クリスタルイオンゲージ」「コールドカソードピラニゲージ」「イオンゲージ」「キャパシタンスゲージ」「ピラニゲージ」の5機種をラインナップし、各種の測定圧力領域や用途に対応。
- ・クリスタルイオンゲージは大気圧～超高真空 ( $10^{-8}$ Pa) の11桁の測定領域を1台でカバー。
- ・電源部とセンサー部が一体化したトランスデューサ型のため、電源据置き型と比較して省エネルギー、省配線、省スペース。
- ・大型カラーLCDパネル付表示器「M-603GC」(別売)では真空計3台の同時モニタリングが可能。



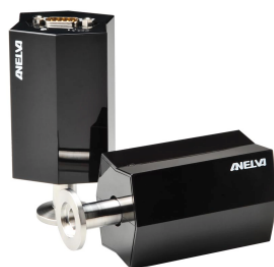
クリスタルイオンゲージ M-336MX



3チャンネル表示器 M-603GC

### 【参考出展】高い測定時の安定性「キャパシタンスゲージ M-342DG」

- ・大気圧～低真空領域の高精度・絶対圧測定が可能な隔膜型真空計。
- ・MEMSチップ製ダイヤフラムを採用。高い測定安定性実現し、ゼロ点調整頻度を最少化。
- ・多面型的なボディケースとピアノブラックを採用した新規性の高いデザイン。
- ・現行のトランスデューサ型真空計の専用表示器「M-601GC」「M-603GC」に適合。



キャパシタンスゲージ M-342DG

### 2. 分析管・電源部一体型質量分析計「トランスデューサ型マスフィルタ<sup>※1</sup>」

- ・分析管と電源部が一体化したトランスデューサ型のため、電源据置き型と比較して省エネルギー、省配線、省スペース。装置への取付けも容易。
- ・ガス組成のモニタにより、システム不具合解析やプロセススタート条件の確認に貢献。
- ・操作も容易な専用ソフトウェア「QUADVISION」を標準添付(日本語版または英語版)
- ・測定可能な質量数範囲が1～410 (m/z) の「M-401QA-MU/MG」<sup>※2</sup>の高速タイプでは、キヤノンアネルバ従来品と比較し10倍のスピード測定を実現し、変化の早い現象の分析にも対応。



トランスデューサ型マスフィルタ

※1 マスフィルタ(四重極型質量分析計)とは、測定するガス分子をイオン化して、時間変化する電界によって質量別に分離し、電流値信号として検出する分析計で、各種電子デバイス製造装置における真空プロセス中のガスモニタ、各種ガス分析装置などに広く使用されています。

※2 「M-401QA-MU/MG」は電源据置き型になります。

### 【新製品】ガス分析装置のエントリーモデル「Cシリーズ」

- ・マスキュラ、電源、排気系、ガス導入系をシンプルに構成した、ガス分析装置のエントリーモデル。
- ・コンパクトで優れた可搬性。
- ・用途に応じて構成内容の選択が可能で、各種測定に対応可能。
- ・真空計、PCをオプションで設置可能(写真はPCを設置した状態)。



ガス分析装置 Cシリーズ

### 3. 着脱式ハンドコントローラー付 ヘリウム漏れ検知機「HELEN (ヘレン)」

- ・本体から着脱可能なカラー液晶パネル付ハンドコントローラーを標準装備。最大 8m まで伸びるコード付きで、使いやすさに優れ、大型装置などの漏れ試験にも対応。
- ・重さ 42kg で可搬性に優れた M-212LD、および大型粗引きポンプを装備した M-222LD、スニファー法<sup>※3</sup>専用タイプの M-232LD を展示予定。



ヘリウム漏れ検知機 M-222LD



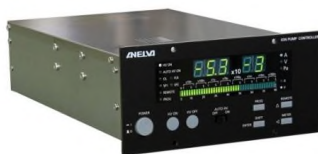
着脱式ハンドコントローラー

※3 (ヘリウム漏れ試験について) 試験体内部をヘリウム漏れ検知機内蔵の真空ポンプで排気し、外側からヘリウムを吹きかけて漏れ検知機で検知する「真空吹付法」の他、試験体内部をヘリウムで加圧し、外側に漏れてくるヘリウムをプローブで吸い込み検知する「スニファー法」などの試験方法があります。

### 4. その他の参考出展製品

#### 【新製品】LED表示でデザイン一新 イオンポンプ制御装置「P-510」

- ・電子顕微鏡や加速器などで使用される超高真空ポンプ「イオンポンプ」用の小型制御装置。
- ・キヤノンアネルバ製イオンポンプの現行ラインアップ全機種に対応。
- ・イオンポンプ/ノーブルポンプそれぞれに、超高真空用(50mA)タイプと高出力(200mA)タイプの2タイプをラインアップ。従来品に比べ微小電流値(0.01 $\mu$ Aレンジ)まで表示。



イオンポンプ電源 P-510

#### ポンプ油の逆流を防止 大口径タイプ「アイソレイトバルブ V-040SV」

- ・ロータリーポンプなどの粗引きポンプの動作に合わせて開閉し、ポンプ停止時や停電時には自動で被排気系側を真空封止し、ポンプ側を大気ベントして被排気系側へのポンプ油の逆流を防止する1台で2役の機能を備えた真空バルブ。
- ・今回は、中型クラスのロータリーポンプの吸気口径に対応した大口径タイプ(NW40)を新しくラインアップ。
- ・駆動源にはポンプで発生する真空力を利用するため、圧縮空気、およびその配管や特別な制御回路は不要で設置が容易。



大口径アイソレイトバルブ V-040SV

### コンプレッサが不要な冷凍トラップ「クライオトラップ」

- ・新開発高性能スターリング冷凍機の採用により、別置コンプレッサユニットとヘリウム配管を廃し、圧倒的な省スペース性と省エネルギーを実現したクライオトラップ。
- ・水分に対する高い排気速度と、高コンダクタンスを両立し、ターボ分子ポンプの上段に設置することで排気性能向上を実現。
- ・メンテナンスサイクルが長く、ランニングコスト低減にも貢献。



クライオトラップ

## 5. その他の出展製品

- ・優れた省エネルギー性能 クライオポンプ「POWER Cryo Eco3」
- ・ $10^{-9}$ Pa 台の排気が可能な超高真空ポンプ「イオンポンプ」
- ・バルブ、フランジなど超高真空対応の配管部品を多数展示

### <キャノンアネルバについて>

キャノンアネルバはキャノン株式会社の100%子会社であり、真空技術を基幹技術とした真空薄膜形成装置や真空部品の開発・製造・販売を行なっています。真空薄膜形成装置の中でもスパッタリング方式の装置を多くラインナップし、ハードディスクの磁気ヘッドおよび磁気ディスク製造用スパッタリング装置では世界トップシェアを有し、関連技術において「内閣総理大臣賞(産学官連携功労者表彰)」「井上春成賞」「市村産業賞・貢献賞」などの受賞歴があります。また、最近ではスマートフォン市場向けの各種高性能デバイス製造ラインに多数の製造装置を提供し、スマートフォンの普及・モバイルシーンの拡大に寄与しています。2011年度売上高は364億円。

真空展には毎年継続して出展しており、真空コンポーネント製品中心の展示を行なっています。